



F-REIの最近の動き (2024年5月～)

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)

F-REIのWebサイトに掲載されている「F-REIの最近の動き
(2024年4月～)」から2024年5月分のみ浪江町役場で抜粋
しております。詳細はF-REIのWebサイトをご覧ください。
(<http://www.f-rei.go.jp/>)

令和6年5月1日（水） 副分野長（原子力災害に関するデータや 知見の集積・発信分野）の決定

5月1日、分野長・副分野長に就任している10名に加え、新たに、原子力災害に関するデータや知見の集積・発信において専門的知見を有する外部の研究者1名に副分野長に就任いただくことといたしました。

原子力災害に
関するデータや
知見の集積・発信



【副分野長】大原 利眞（おおはら としまさ）
一般社団法人日本環境衛生センター
アジア大気汚染研究センター 所長

令和6年5月13日（月） F-REIトップセミナーの開催（福島大学）

5月13日、今年度最初のトップセミナーを福島大学で開催しました。

江村理事が講師を務め、演題を「これからの社会とそこで活躍する人材を目指して～AIの進展や気候変動など変化の激しい時代を生き抜くために～」とし、修士課程（博士前期課程）の1年生約100名を対象に行いました。

江村理事は、社会情勢と日本の立ち位置・課題について言及され、「これからの時代には、基板的な能力や人間力を磨く必要がある。自らのやりたいこと、実現したいことを見出し、学び続けることで役立つ人材であり続けてください。」と学生へメッセージを伝えていました。



令和6年5月28日（火） F-REIトップセミナーの開催（会津大学）

5月28日、今年度2回目のトップセミナーを会津大学で開催しました。

山崎理事長が講師を務め、演題を「コンピュータ理工学部の皆さんへ～これからどう過ごす？ 大学生活のススメ～」とし、コンピュータ理工学部1年生約240名を対象に行いました。

山崎理事長は、「人よりも積極的にいろいろな経験を積み、フィールドワークやインターンシップ、留学などによって、未来のリーダーとなるために知恵と現場力を養うことが大切である。」と話されました。





**世界に冠たる
「創造的復興の中核拠点」へ**